

信州プラスチックスマート運動を実施しています！ ～プラスチックと賢く付き合きましょう～

海洋プラスチックごみの増加による海洋環境への影響が、懸念されています。

長野県は太平洋、日本海に流れ込む河川を有する上流県であり、この課題と向き合うため、生活スタイルの見つめなおしから、プラスチックと賢く付き合う取組を積極的に進めていく必要があります。

私たち一人ひとりが意識して次のことを実践し、“ごみ減量日本一の継続”と、美しく「環境にやさしい長野県」を目指しましょう。



* 次の3つを意識した行動を *

◆ 意識して「選択」



- ・そのストロー、レジ袋は必要？ いらないときはお断りしてみる。
- ・使い捨てとなるスプーン等は不要であればもらわない。

◆ 少しずつ「転換」



長野県リサイクルキャラクター クルルん

- ・マイバッグ、マイボトルを使ってみる。
- ・プラスチック製品に替わる木製、紙製などの代替製品を使ってみる。
- ・詰め替え製品を使ってみる。

◆ 分別して「回収」



- ・必要なプラスチックは使ってもいいんです。でも使い終わったら、ルールに従い分けて回収へ。

～解説～

海洋プラスチック問題とは？

海洋に流れ出すごみの多くは、使い終わって捨てられたプラスチック製品。それを海鳥や魚が誤って食べ、体内に取り込んでしまい、最悪命が奪われるなど海の生態系に大きな影響をもたらします。

プラスチック製品の廃棄量が全世界で増えている状況で、このままでは 2050 年には海洋プラスチックの量が海にいる魚の重量を超えと言われています。

代替製品とは？

プラスチックは丈夫で長期間使用できることが大きな利点ですが、それが環境中に捨てられ、細かく砕かれても分解されず、そのまま残ってしまうことが大きな問題です。

プラスチックに代わる製品として、バイオプラスチックや生分解性プラスチックなどの製品が開発されたり、紙製や木製の製品に替える取組も行われています。

長野県環境部資源循環推進課
TEL 026-235-7181 (直通)
Mail junkan@pref.nagano.lg.jp